



「西高1年生もあと1ヵ月」

先日、第73回甲府西高等学校卒業式が春を思わせる温かい日差しのもと行われ、残念ながら昨年同様に在校生の出席はできませんでしたが、3年生が新たなステージへ出発していきました。向山先生の校歌独唱や泉先生伴奏での音楽部による校歌斉唱など1年次生にとっても見どころ満載でしたので「オンライン中継でもすれば良かった」と式が終わった後に思いました(笑)。みなさんの第75回卒業式はこれまでの形で行われるのか。それとも、卒業式も「新しい生活様式」として少しずつバージョンアップしていくのか。ワクチン接種でこれまでに戻るのが良いのか、これを機会に変化すべきなのか、先生が今回の卒業式で感じたことです。



さて、高校の3月は3年生が去って少し寂しい雰囲気の中、新入生を迎える行事で在校生は休みも多く本当に慌ただしく過ぎていきます。また今年は2年生の待ちに待った修学旅行が14日(日)から16日(火)に実施されることになりました。そんな1年生だけの登校期間中の12日(金)には1年次球技大会が計画されています(2年生は代休です)。この1年の最後の思い出作りとしても素敵な時間にして欲しいと思います。あっ、西高あるあるなんです、普段運動不足の西高生は球技大会でケガをすることが多いです。その点だけは注意して楽しんでください(笑)



入学式がなかった代わりに先日クラス写真を各クラスで撮影してもらいました。屋上や校外での撮影など各クラスでアイデアをだして撮影してましたね。本来であれば入学式のクラス写真には先生は全クラス入っていたはずなんです。別に「主任も一緒にどうですか？」なんてひとクラスからも誘われなかったから寂しいわけではありません(笑)。ですが、球技大会の日に年次全体でまとめて1枚撮影させてください。入学式当日の硬い表情の集合写真より笑顔の写真のほうがずっといいに決まっています。楽しみにしています、あとは晴れますように祈るばかりです。

年次主任 三井恒弘

◎3月行事予定 ～2年生0学期です～

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	月	行	第73回卒業証書授与式(家庭学習日)	16	火	B	進路ガイダンス(1)
2	火	B	短縮45授業 後期募集選抜検査会場準備	17	水	B	※2年次休業日
3	水		後期募集選抜検査(家庭学習日)	18	木	B	※2年次休業日
4	木		後期募集選抜検査採点(家庭学習日)	19	金	行	※1年次振替休日(2/27)
5	金	B	金5LHR	20	土		春分の日
6	土			21	日		
7	日			22	月	A	新入生オリエンテーション準備(LHR)
8	月	行	きずなの日 答案返却	23	火		新入生オリエンテーション(家庭学習日)
9	火	A	個人写真撮影(新2,3)	24	水	B	きずなの日
10	水	A		25	木	行	後期終業式 退任・離任式 大掃除
11	木	A		26	金		学年末休業(～3/31) 単位追認試験
12	金	行	球技大会(1年次) ※2年次休業日	27	土		
13	土			28	日		
14	日		教科書販売(イトーヨーカ堂)2年次修学旅行(～16日)	29	月		
15	月	B		30	火		
				31	水		

※春季特別課外(1年次)は19日～21日@甲斐ゼミでの実施です。

保護者の皆様へ

「教科書販売」 新2年で使用する教科書を3月14日(日)にイトーヨーカ堂甲府昭和店内に柳正堂書店で販売されます。販売時間は10:00～20:00です。市内の県立学校間で日程調整されているため、この日限定での販売になります。過日お子さんを通じまして購入表を配布してあります。よろしくお願いいたします。

「2年0学期」 先月も連絡いたしました、今月も卒業式や高校入試など平常授業の日程が少なくなり、家庭での学習時間が多くなります。この時期は「2年0学期」ともいわれ、苦手科目の克服や1年次の遅れを取り戻し、また2年次の学習分野を先取りしてスタートダッシュに向けた準備期間です。進路実現の第一歩として、年次職員力を合わせてお子さんのバックアップに努めさせていただきます。今後も御協力をお願い申し上げます。

◎先生方からの寄稿 今月は5組の担任 天野 圭 先生 と 副担任 野崎 康子 先生です。

「挑戦し続けること」

こんにちは。美術担当の天野です。授業では1年生全員とは関われないのが非常に残念ですが、今日は授業の枠を超えて美術ではなく「音楽」を中心にお付き合いいただければと思います。本日のテーマは「挑戦し続けること」について私の独断と偏見で少しお話ししたいと思います。

私自身の話になりますが、年々趣味が減っていき現在は「音楽鑑賞」くらいしか残っていません。私が本格的に音楽を聴き始めたのは高校1年生の夏休みでしょうか。通っていた高校の近くにあったショッピングセンターが閉店するというので、友人Sに誘われCD売り場に行きました。S「これ100円だけど、メチャクチャギターが速くてカッコいいよ！」と言われ、私「ギターが速い？ん？」と不思議に思った記憶があります。100円だからいいかとジュースを買う感覚で購入しましたが、今考えるとこれをきっかけに私のディープな音楽ライフの始まりとなりました。（ちなみに購入したのは「Schizophonic (Nuno Bettencourt)」）

ここからHard Rockをしばらく聴き、Industrial Rockを経由しJazzやClassicをかじりながらIDM (Intelligent dance music) ・Electronicaに辿り着きました。私自身その不思議な世界に魅了され、大学時代PCでの楽曲制作をはじめ、その後約10年で200曲ほど作りましたが、そのほとんどが実験的な内容に終わってしまいました。自分の趣向を分析していくうちに、音楽を聴く(作る)上で重要なのは「音質」と「リズム」でした。(メロディーも重要ですが、音質によりメロディーが生まれるような気がしてます)この2つの要素について特徴的な楽曲を発表している



「Autechre」「Boards of Canada」「Squarepusher」を紹介します。彼らの詳細については割愛しますが、共通点は「未知の領域への挑戦」です。またリスナーに媚を売らず、常に良い意味で裏切ってくる姿勢はクリエイターとしての本来の姿だと思います。それぞれを一言で表現するならばAutechre=「ひたすら実験」。Boards of Canada=「ひたすら普遍」Squarepusher=「ひたすら変人(変わり続ける人)」といったところでしょうか。既存の常識や仕組みに対し、やみくもに抗おうとするのではなく、純粋に新たな価値観を生み出し続ける姿勢が楽曲から伺えます。彼らから伝わることは、常に明確なビジョンを持ち続け、そこに到達するために日々挑戦し続けることです。

5組担任 天野 圭



「閑坐聴松風」

先日茶道部が茶室に置くために購入した色紙に毛筆で書かれている、1つの言葉がずっと気になっていました。その色紙は、顧問ではあっても茶道には全く不勉強な私が、お店で手頃なものを何枚か見せてもらって、見た目の直感で1枚選び購入したものです。

思い立って調べたところ、色紙には「閑坐聴松風」と書いてありました。「閑坐(かんざ)して松風(しょうふう)を聴(き)く」と読むようです。意味は、「一切の妄念を離れて、ただ座り、松の木に吹く風の音を聴く」で、松風は、茶の湯では茶釜の煮えたぎる音をさすそうです。茶室で静かに座り、お湯がふつふつと沸騰して金属の釜に当たる音に気持ちを集中させていると、心がだんだん落ち着いてくる、という様子が想像できます。また、この言葉はもともと禅語ですので、茶室に限らず、場所はどこでも何かこのような音に耳と心を集中させて聴いているときの心のありよう、ととらえてよいようです。



意味を知り、新しい言葉に出会えたことにちょっとしたうれしさを感じましたが、同時に、自分が、日常の中でこのような方法で心を落ち着かせられるのかどうかとも思いましたので、実は試してみました。まず風の音を聴くところから始めてみましたが、部屋の中で一人でじっとしていても全く聞こえませんでした。予想通り、普段の生活場面は人工的な音に囲まれていました。それならば、と松の木そばにまで行ってみると、静かな場所であったこともあり、風のような音は何となく感じるものの、やはり周囲のよりわかりやすい物音や視覚的情報に次々に気を取られて、その微かな風の音にはなかなか気持ちが向きませんでした。この時気付いたことは、一点に気持ちを集中させている心の状態には、意識的に自分をコントロールしないとたどり着けないし、それを保っておくことはさらに難しいのだ、ということでした。今回出会った言葉には、奥深い世界が広がっていました。

心を落ち着かせるということは、誰にでも自然とできるというようなものでなく、例えば茶道の場面のように、形や環境を整えて意識的にやってみることからはじめて、だんだんと他の場面でもその落ち着いた状態が保てるように自分になじませていく、そのようなプロセスを、場合によっては気づかないうちに経て、身に着けていくものなのかもしれません。

皆さんは、心を落ち着かせるための行動、何か持っていますか？

5組副担任 野崎康子